

さかい〜統計情報館

The statistical report of Sakai City

Vol. 31

今回の数字

18.9%

作成日：平成 28 年 11 月 28 日

作成元：坂井市役所 企画情報課

TEL:0776-50-3013

FAX:0776-66-4837

MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～ 家族になろうよ ～

「家族の日」があるのを知っていますか？内閣府では、子供を家族が育み、家族を地域社会が支えることの大切さについて理解を深めてもらうために、平成 19 年度から 11 月第 3 日曜日を「家族の日」と決めました。今年は、11 月 20 日が「家族の日」でした。そこで今回は、家族に関する数字を紹介します。

□婚姻が多いのは 3 月!!

家族になるための最初の第一歩といえば、結婚を思い浮かべるのではないのでしょうか。

結婚式といえば、「ジュンブライド」という言葉が有名です。「6 月に結婚する花嫁は幸せになれる」という言い伝えもありますが、福井県では何月に婚姻する方が多いのでしょうか。2015 人口動態調査の結果より、平成 27 年の福井県の月別婚姻件数を表にしました。

福井県では、気候が良く過ごしやすい春と秋に婚姻する人が多いことがわかります。婚姻件数が 1 番多い 3 月は 1 番少ない 1 月と比べると、約 2 倍も多くなっています。

福井県の月別婚姻件数

	月	件数	割合
1	3月	401	11.52%
2	11月	361	10.37%
3	5月	325	9.34%
4	10月	301	8.65%
5	4月	292	8.39%
6	7月	291	8.36%
7	9月	280	8.04%
8	8月	274	7.87%
8	12月	274	7.87%
10	2月	251	7.21%
11	6月	233	6.69%
12	1月	198	5.69%

資料：2015人口動態調査

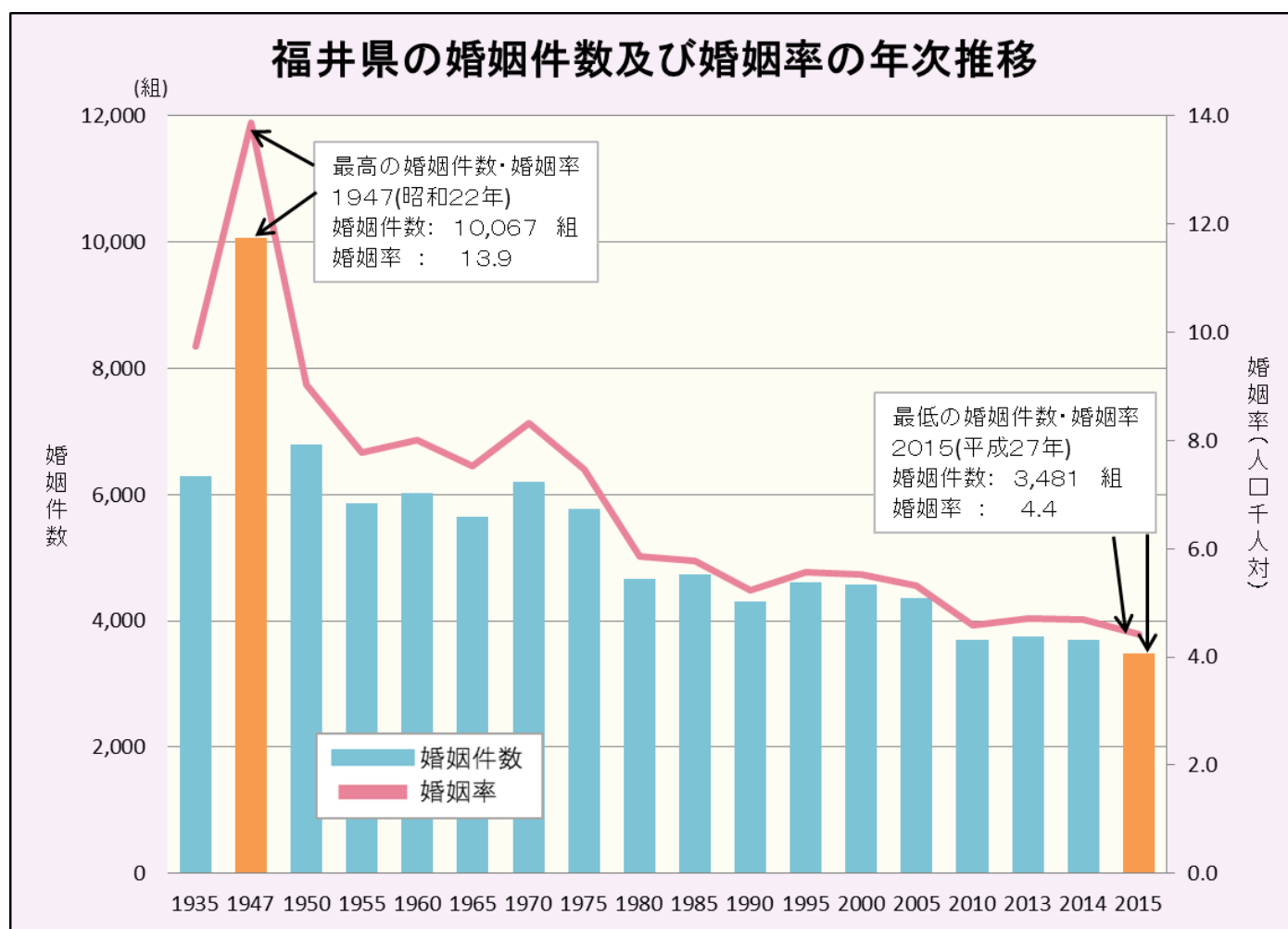


□平成27年の婚姻件数は福井県全体で3,481組

「未婚化・晩婚化」という言葉を聞いたことはありませんか。1970年代半ば以降、少子化による若年者の減少、未婚率の上昇などを背景に日本の婚姻件数は減少傾向にあります。下のグラフは、福井県の婚姻件数及び婚姻率の年次推移です。

婚姻件数・婚姻率を見ると1947年と1970年に増加しているのがわかります。これは、日中戦争・太平洋戦争の影響で婚姻を見合わせていた世代が戦後いっきに結婚したことで、1947年に婚姻件数・婚姻率ともに増加する結果となりました。また、この結婚が出生数を増やし、第一次ベビーブーム世代を形成し、1970年代に前半には第一次ベビーブーム世代が婚姻件数・婚姻率を増加させました。

このグラフから見てわかるとおり、1990年代後半から大きな変化はありませんが、婚姻件数・婚姻率が徐々に減少していることが分かります。

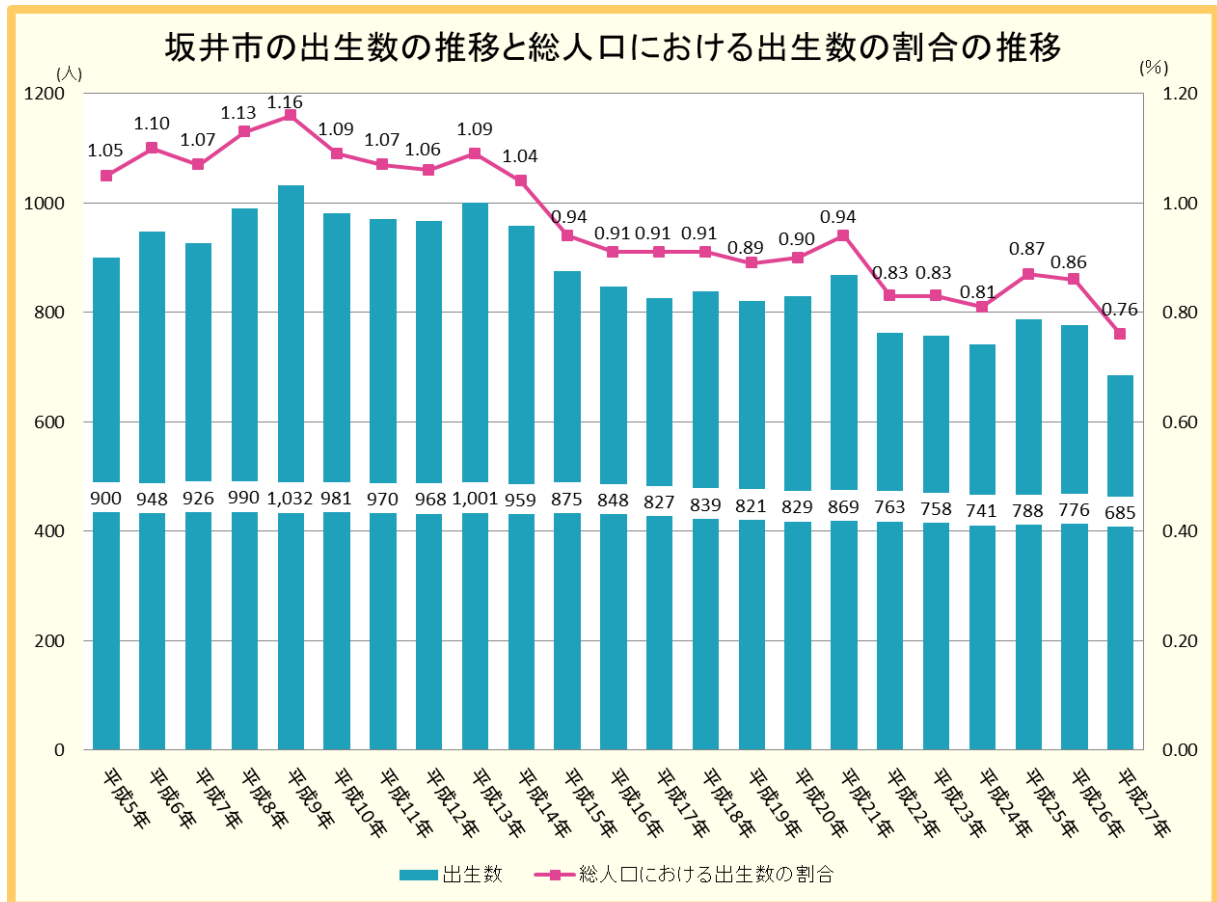


資料: 人口動態調査

□坂井市の平成27年の出生数は685人

家族が増えるときといえば、新たな生命(いのち)が生まれるときではないでしょうか。下のグラフは「坂井市の出生数の推移と坂井市の総人口における出生数の割合の推移」を表したものです。毎年急激な減少はないですが、徐々に減少傾向にあります。

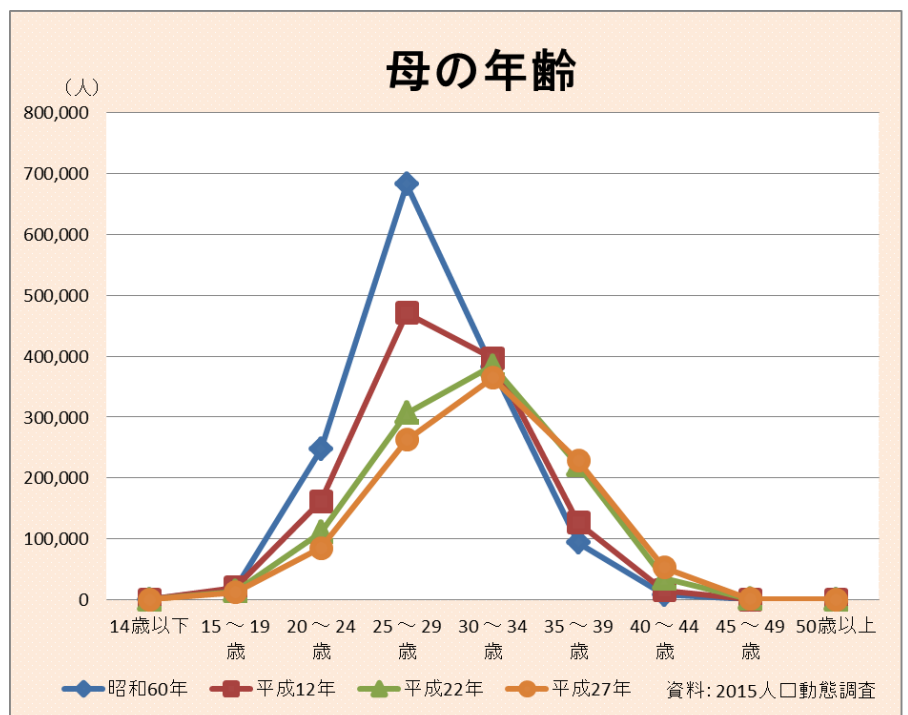
平成27年と出生数が多かった平成9年を比べると、出生数は約350人、出生数の割合は0.4パーセント減少しており、少子化が進んでいることがわかります。



資料：福井県の推計人口、平成7年、12年、17年、22年、27年国勢調査

将来の夢は「お母さん」だった女の子も多いかと思えます。

右のグラフは全国の母の年齢を表したものです。昭和60年から比べると、母になる年齢がだんだん遅くなっていることがわかります。また、どの年でも30～34歳に母になっている数はほとんど同じです。グラフからもわかるとおり、晩産化・少子化傾向になってきています。



※「母の年齢」は同じ母親が第2子以上を生んだ場合の数も含まれています。

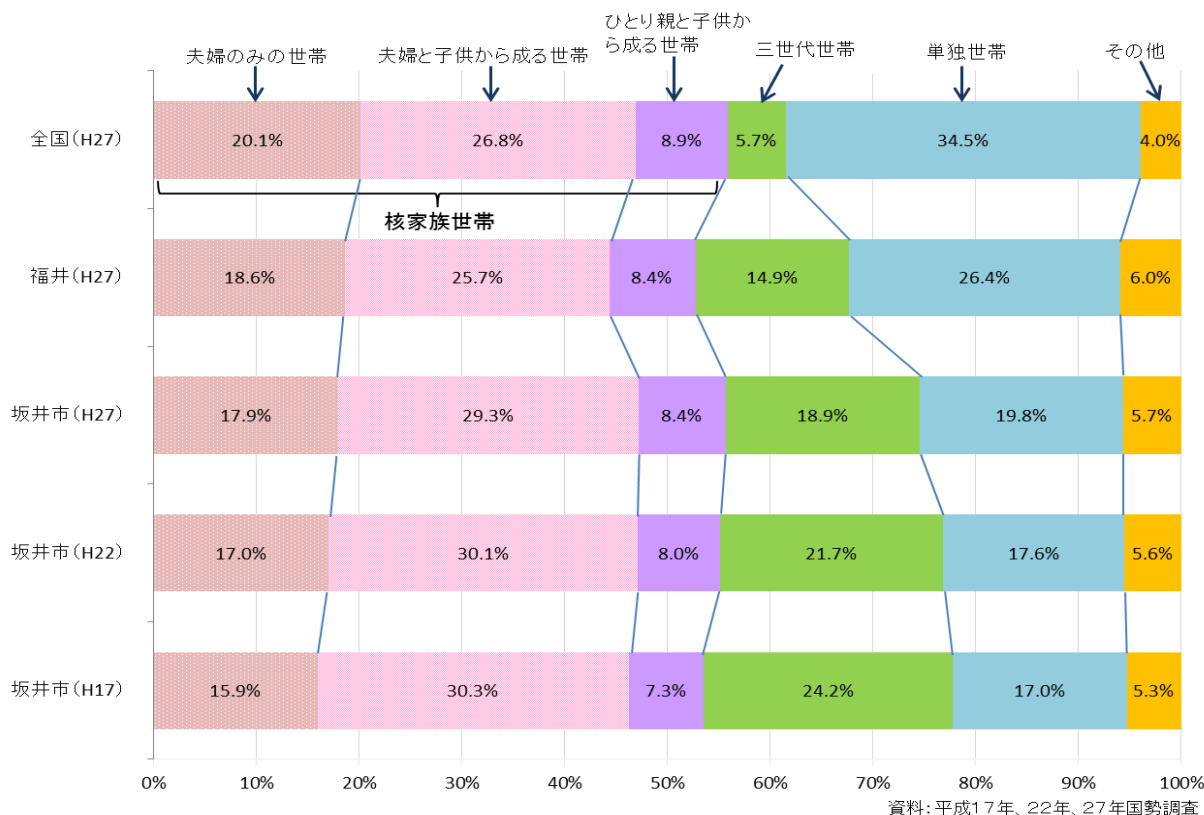
□家族のカタチ

みなさんの家族のカタチはどんなカタチでしょうか。下の図は全国、福井、坂井市の一般世帯の家族類型別割合をグラフにしました。

平成27年の全国・福井と坂井市を比べると、核家族世帯の割合はほとんど同じですが、大きな違いとして、坂井市では三世代世帯が多く、単独世帯が少なくなっています。全国と坂井市の三世代世帯に注目すると、なんと13.2%も坂井市の割合が多くなっています。

平成17年から27年にかけての坂井市をみると、三世代世帯の割合はこの10年で、5.3%減少し、夫婦のみの世帯は2%、単独世帯は2.8%増加しています。三世代世帯が、夫婦のみの世帯・単独世帯に移行したかのようにみえますね。

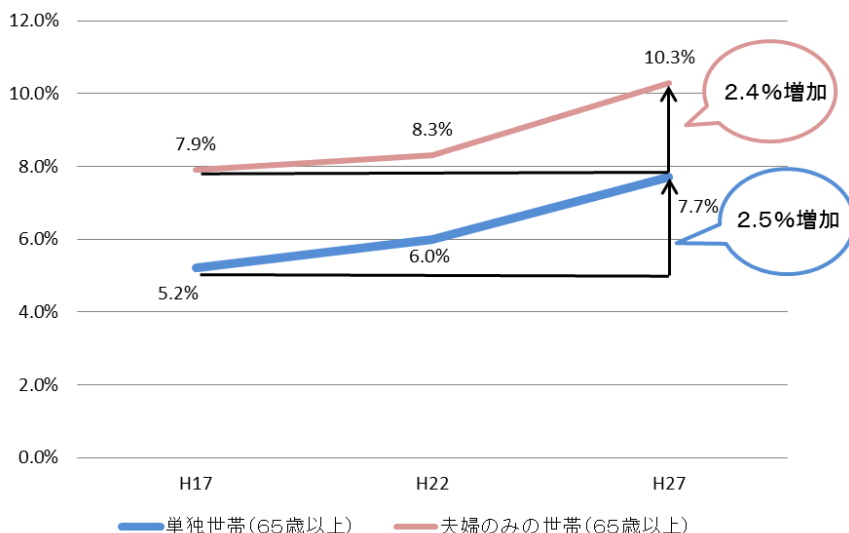
一般世帯の家族類型別割合の推移



それでは、三世代世帯が夫婦のみの世帯・単独世帯に移行したのか右のグラフで確認してみましょう。

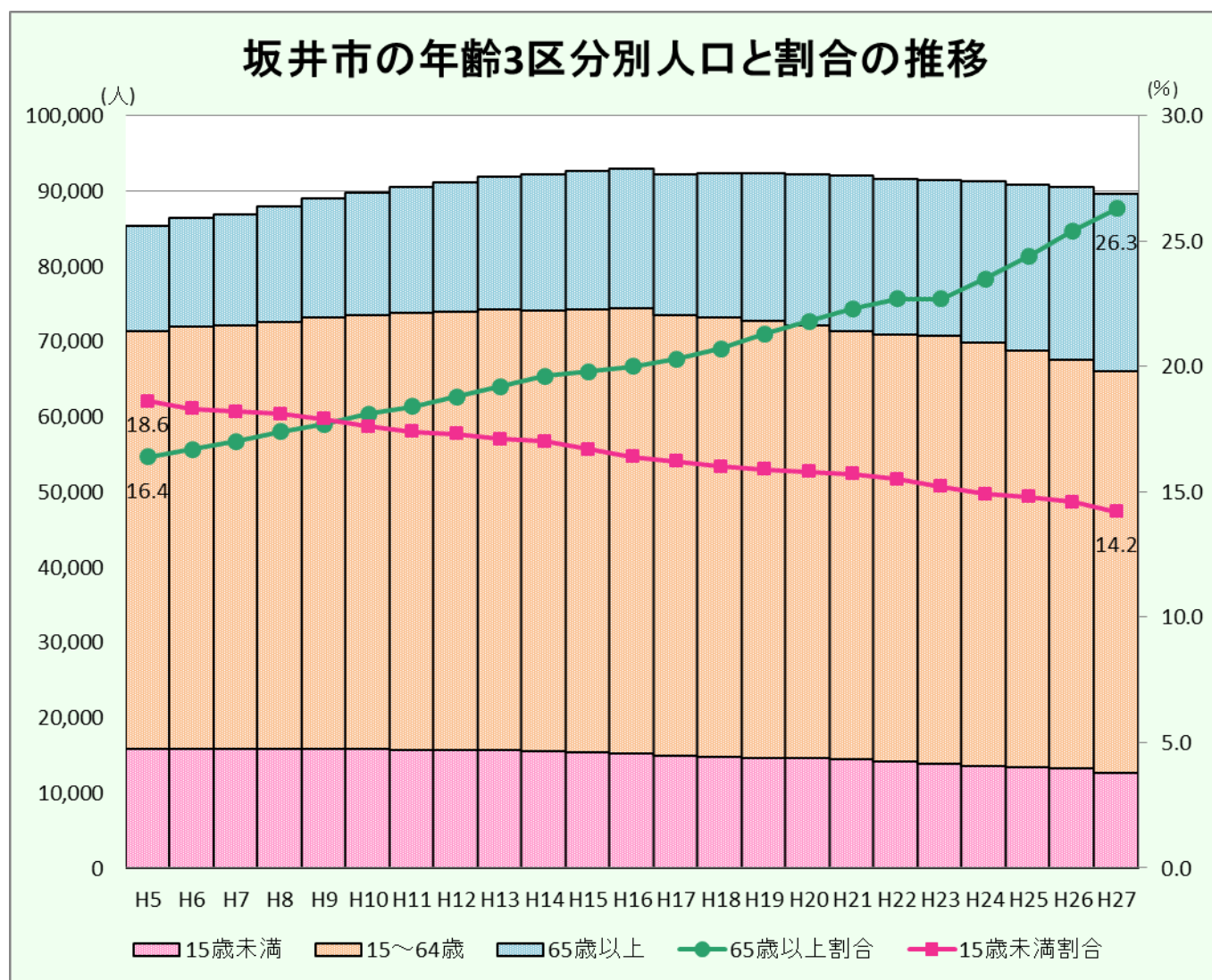
右のグラフは坂井市の65歳以上の単独世帯・夫婦のみの世帯の割合の推移を表しています。65歳以上の単独世帯と夫婦のみの世帯の割合は、それぞれ2.5%、2.4%増加しており、三世代世帯が夫婦のみの世帯・単独世帯に移行したことが推測されます。

坂井市の65歳以上の単独世帯・夫婦のみの世帯の割合の推移



全国と比べて三世帯世帯が多く、単独世帯が少ない坂井市の人口はどのような年齢構成になっているのか、下のグラフで表してみました。棒グラフが年齢3区分別人口、線グラフが65歳以上と15歳未満の割合を表しています。

坂井市全体の人口は、平成16年にピークを迎えその後は減少傾向にあります。15歳未満の人口は平成9年が15,904人と一番多く、次の年からは毎年減少しています。65歳以上の人口は平成23年に一度減少しましたが、その他の年では毎年増加しており、平成27年には23,590人となりました。人口の割合を比べると15歳未満は平成5年と平成27年で4.4%減少し、65歳以上は9.9%増加しており、人口構成が約20年で大きく変化していることがわかります。



資料：平成7年、12年、17年、22年、27年は10月1日国勢調査、それ以外の年は10月1日現在の福井県年齢別人口(推計)
 ※国勢調査については年齢不詳の数値は含まれていない。

★今回の数字の答え★：平成27年国勢調査の坂井市の三世帯世帯の割合